石巻日日新聞 2023年11月21日

一人で抱えず一緒に解決

4年ぶり研修会に350人

石巻ブロック民生児童委協

石巻地方2市1町で作る石巻ブロック民生委員児童委員連絡協議会は15日、ビッグバンで研修会を開いた。ルーテル学院大学名誉教授の市川一宏さんが「民生委員・児童委員の相談支援活動について～実事例を通して考える」と題して講演。ひきこもりや児童虐待、子どもの貧困など社会課題への対応や、地域ケアのあるべき姿、協働の重要性を説いた。

研修会はコロナ禍の休止を経て、4年ぶりに実施。同日は2市1町の民生委員児童委員や主任児童委員ら約350人が参加した。

市川さんは民生委員と児童委員の役割の重要性を強調。「地域住民の身近な相談相手や見守り役であり、行政の協力者として福祉制度を効果的に機能させるつなぎ役。地域課題の可視化と住民の代弁者としての提言も大きな役割」とし、さまざまな課題を抱える人を支えるためには「自治会や町内会と民生・児童委員が連携を強化することが大事」とした。

ルーテル学院大の市川名誉教授が講演した

「協働活動を行う際の留意点では「社会が直面する課題はどれも深刻。一人で問題を抱えることは避け、あくまで仲間や町内会、社協、行政と一緒に解決に向かってほしい。委員が日ごろの悩みを語らい、互いに支え合える場を設けるなど工夫も大切」などと助言。対人援助コミュニケーションの基本技法習得や相談技術の向上にも目を向けることを奨めた。【山口紘史】